

宮城県感染症発生動向調査情報(第45週)

宮城県【平成26年11月13日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2014.11.3 ~ 11.9 ・ 第45週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第42週	第43週	第44週	第45週
水痘		11 1.10	13 2.60	1 0.50	5 1.67	4 0.80		39 1.50	73 1.26	1,844	○→	○→	○→	◎
流行性耳下腺炎		2 0.20		1 0.50	3 1.00			9 0.35	15 0.26	594	→	→	→	
百日咳								1 0.04	1 0.02	9	→	→	→	
感染性胃腸炎	21 4.20	22 2.20	7 1.40	4 2.00	9 3.00	2 0.40		101 3.88	166 2.86	15,683	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	5 1.00	3 0.30				2 0.40		5 0.19	15 0.26	396	レ→	→	→	
伝染性紅斑	9 1.80	1 0.10	2 0.40		8 2.67	14 2.80		17 0.65	51 0.88	2,316	○→	○→	◎→	◎
突発性発しん	3 0.60	4 0.40	5 1.00	2 1.00	2 0.67	1 0.20	1 0.50	18 0.69	36 0.62	1,733	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ	2 0.40							3 0.12	5 0.09	2,425	レ→	レ→	→	
インフルエンザ	3 0.38							2 0.05	5 0.05	28,921	→	→	→	
咽頭結膜熱	1 0.20			1 0.50		1 0.20		7 0.27	10 0.17	607	→	→	→	
流行性角結膜炎		1 0.33				1 1.00		1 0.17	3 0.25	148	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 0.80	12 1.20	4 0.80	3 1.50		20 4.00		45 1.73	88 1.52	5,015	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎	1 1.00								1 0.08	3	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			2 2.00	1 1.00			4 4.00	1 0.20	8 0.67	377	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	31 6.20	6 0.60						23 0.88	60 1.03	609	レ→	→	○→	○
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)			1	1		2	3	3	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病	2								【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/				
	不明発疹症							1						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※									52				

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核
石巻管内 男性2名
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O103)
仙台管内 男性1名
4類感染症: レジオネラ症
仙台管内 男性1名
5類感染症: アメーバ赤痢
塩釜管内 男性1名
梅毒
仙台管内 男性1名(第44週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント
— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —
【伝染性紅斑】
仙南、登米、石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】
～仙台医療センターウイルスセンター～

	第43週採取分 (10.20～10.26)	第44週採取分 (10.27～11.2)	第45週採取分 (11.3～11.9)
パラインフルエンザウイルス1型	3件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス2型	1件	0件	0件
RSウイルス	1件	4件	1件
ムンプスウイルス	1件	0件	0件
アデノウイルス	1件	2件	0件
エンテロウイルス	1件	2件	0件
サトウカウウイルス	0件	0件	1件

【RSウイルス感染症】
RSウイルス感染症は、RSウイルス感染によって発症する呼吸器感染症である。特に警報・注意報基準値は設定されていないが、今週は仙南、仙台管内で患者報告が多く、また仙台医療センターウイルスセンターでもRSウイルスの検出が続いている。例年、冬期に流行する傾向があり、乳幼児期においては重要な疾患であることから、今後も注意が必要である。

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第43週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.60)、千葉県(0.30)、長崎県(0.23)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は9例と前週と比較して増加し、5県から報告があった。**RSウイルス感染症:** 報告数は2,697例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(0.94)、群馬県(0.80)、福井県(0.73)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山口県(3.23)、北海道(3.09)、岩手県(2.85)である。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(6.08)、徳島県(5.43)、岡山県(5.41)である。**水痘:** 定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(1.65)、長野県(1.61)、山形県(1.57)である。**手足口病:** 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(2.27)、佐賀県(2.26)、沖縄県(1.94)である。**百日咳:** 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.26)、山形県(0.13)、香川県(0.10)である。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(0.82)、福島県(0.58)、宮城県(0.50)である。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は長崎県(2.00)、福島県(1.14)、富山県(1.00)、高知県(1.00)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は減少した。群馬県から1例報告があり、年齢別では1～4歳であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数